平成29年度特別会計決算の認定

国保事業へ2億4千万円の繰入金
今年度も繰上充用金で歳入不足を補う

特定健康診断受診中の一コマ

●国民健康保険事業

加入者数は、平成27年度4030人、平成28年度3855人、平成29年度は3652人と年々減少。一人当たりの費用額は、平成27年度が39万2294円、平成28年度は39万78円と減少していたが、平成29年度は41万4903円と増加した。

○歳入総額
21億8188万円

不能欠損額は624万円、収入未済額5531万円、前年度比919万円の減。

・国民健康保険税収入済額　3億2502万円

前年度比235万円の増。収入未済額は5525万円で、前年度比875万円の減。

・繰入金
2億3814万円

前年度比844万円の減。

○歳出総額
21億9979万円

前年度比1億3247万円の減。

歳入不足額1791万円で、平成30年度より歳入繰上充用金で補った。

・保険給付費
12億9750万円

前年度比2500万円の増。

認定（全員）

●国民健康保険直診

○歳入総額4653万円
・診療収入　2285万円

前年度比53万円増。

・一般会計繰入金
1900万円

前年度比250万円減。

○歳出総額　4597万円

差引残額は56万円。

認定（全員）

介護保険事業へ2億4千万円の繰入金

●介護保険事業

○歳入総額
16億8708万円

・保険料　3億502万円

収入未済額1892万円。

・一般会計繰入金
2億4071万円

○歳出総額
16億2136万円

差引残額は6572万円。

・保険給付費
14億5072万円

前年度比589万円の増。

サービス利用者は、年間延べ8575人で、前年度より187人増。

認定（全員）

●介護サービス事業

○歳入総額1502万円
○歳出総額1502万円

差引残額は2千円弱。

収入未済額はなし。

この事業は、介護保険の予防給付の対象となる要支援者の介護予防計画を作成し、介護予防サービス等の提供が確保されるように運営しているもので、平成28年度の要支援認定者数は139人、利用契約者数は30人。

認定（全員）

●後期高齢者医療保険事業

本事業は、平成20年度から始まった75歳以上の方々の医療保険を運営するもの。

○歳入総額
2億166万円

・後期高齢者医療保険料
1億1956万円

収入未済額は59万円で、前年度より14万円の増。

・一般会計繰入金
7107万円

前年度比149万円の減。事務費に係る費用や保険料軽減措置をした保険料について一般会計から繰り入れた。

○歳出総額
1億8040万円

・後期高齢者医療広域連合納付金
1億7438万円

前年度より618万円減。

歳入総額と歳出総額の差引残額は2126万円。

認定（全員）

●住宅新築資金等貸付事業

貸付事業が終了しており、新規貸付がないため、現在は貸付金の回収のみ。

○歳入総額　659万円

収入未済額は8170万円で、前年度比398万円の減少。

○歳出総額　333万円

差引残額、翌年度繰越額共に326万円。

認定（全員）

●宮川奨学資金

○歳入総額2403万円
・返還金　2403万円

収入未済額は853万円で、前年度比143万円の増。

○歳出総額2086万円
・奨学資金貸付金
1260万円

貸付の内訳は、大学生、専門学校生27人、高校生14人の計41人。前年度比で大学生、専門学校生は12人減、高校生は2人増となっている。

また、差引残額、翌年度繰越額共に317万円。

認定（全員）